

財務諸表論		講義	准教授 岩下 尚義	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門選択科目 会計ファイナンスコースの選択必修科目 経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23212101	

1. 授業のねらい・概要

財務諸表論とは、外部報告目的会計（財務会計）を対象とした学問であり、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成するための会計基準や会計思考を学ぶ。現行の会計基準を学ぶとともに、基準の背景や歴史、思考などを学習することで、ビジネスや資格試験に活かせる会計力を養成する。

本授業は、「会計学基礎」や「会計学総論」の履修、またはそれに準ずる基礎知識を有していることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で行う。テキストの内容に沿った講義形式を基本とするが、授業の進捗状況に応じて各回の授業内容が多少前後することがある。

3. 授業計画

1. ガイダンス	8. ここまでのまとめ
2. 財務諸表概論（役割、基本的前提）	9. 損益計算書②（従来基準：発生主義会計）
3. 財務諸表の体系 （制度会計、サステナビリティ開示基準等）	10. 損益計算書③（新会計基準：収益の認識基準）
4. 貸借対照表①（概要、区分表示）	11. キャッシュ・フロー計算書
5. 貸借対照表②（資産評価、原価・時価・割引現価）	12. 財務諸表の分析①（分析方法の説明）
6. 貸借対照表③（負債、純資産の評価）	13. 財務諸表の分析②（事例を用いて実践）
7. 損益計算書①（概要、区分表示）	14. 税効果会計（会計と税務の相違）
	15. まとめ（財務諸表の作成、活用方法）

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読むことが望ましい。また、復習は必須であり、テキストやレジュメを読み込むことや、授業で指示がある場合には条文等を暗記しておくケースもある。これらの準備学修には2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答を配布する。なお、試験内容の解説は、第15回に予定しているまとめ講義にて行う。

6. 授業における学修の到達目標

財務諸表の作成または分析を行うための理論および実務上の形式を理解すること。また、税理士試験や日商簿記検定1級等の受験を検討している人は、本授業の内容が試験勉強に直結するため、試験に活かせる学修を目指す。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の結果（50%）及び授業への取り組み姿勢（50%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストとして大塚 宗春監修(2024)『会計学の基本』中央経済社を使用するほか、テキストの概要をまとめたレジュメを配付するので、毎回の授業に必ず持参すること。

9. 受講上の留意事項

受講者は「会計学基礎」や「会計学総論」の履修、またはそれに準ずる基礎知識を有していることが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、税理士としての実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。